

☆ 知って得する情報(第12回)

～ 税務調査のQ&A ～

Q、税務署に狙われやすい会社って本当にあるのですか？

A、最近急成長した会社、決算書や経営分析項目で異常値のある会社、マスコミ等で話題になった会社は狙われやすいです。

：税務調査の対象となりやすい会社

・ 売上高が大きい会社

人手不足である税務署は効率性を重視しますので、小規模の会社より比較的規模の大きい会社が狙われやすいです。

・ 黒字会社

上記同様に税務署は効率性を重視しますので、赤字会社より税金の徴収しやすい黒字会社が狙われやすいです。

・ 急成長した会社

急成長した会社は、営業優先で経理がいい加減な傾向があるため、狙われやすいです。

・ 長期間税務調査が実施されていない会社

緊張感が緩んでいることが多く、多数の指摘事項が発覚することが多いため、狙われやすいです。

・ 現金売上げがある会社

脱税が比較的行いやすいため、調査頻度が高いように思います。

・ 決算書で異常値がある会社

多額の特別損失の計上や各勘定科目において過去と比べて大幅な変動があると、脱税に可能性を疑われて、調査の可能性が高まります。

・ 決算書や経営分析項目（売上総利益率など）で異常値がある会社

売上総利益率や人件費比率などで過去と比べて大幅変動があると、脱税の可能性を疑われて、調査の可能性が高まります。

・ 同業種と比較して申告所得が低い会社

同業種に比べて利益率が低いようなケースも、調査の可能性が高まります。

・ 代表者や関連会社との取引がある会社

同族内における取引が多数あると、脱税の可能性を疑われて、調査の可能性が高まります。

・ 経営者個人で大きなお金の動きがあった会社

お金の出所の確認などで、調査されることがあります。

・ 多額の投資を行った会社

お金の出所や経理処理の妥当性チェックのため、調査されることがあります。

・ 取引先や従業員とトラブルがあった会社

トラブルがある会社というのは、税務上も問題を抱えているのではないかと疑われて、調査されることがあります。

・ マスコミ等で話題になった会社

話題になっている割には売上げが少ないと考えて、調査されることがあります。